教えろよ

なにが

楽しいんだ？

だ…誰だ…

お前…

なんだよ 忘れちまったのか？

昔よく一緒に遊んだじゃねぇか

相変わらず忘れっぽいな～ お前は…

NANBAKA

第61話 わすれもの

ビビってんじゃねえよ

久々にお前に会えたからテンション上がってんだよ

ニヤ

元気そうでなによりだよ

さっきからお前誰だ？

それよりどうやってここに来た

お前この看守じゃねえだな？

おかしい…

年が俺と変わらねえ看守なんて見たことがない

もし囚人だとしても俺以外に出れる奴なんていないはず…

一体こいつは…

そんなに睨むなよ

ザッ

イラつくだろが

確かに『感触』があった

今のはなんだ

『コイツ』は
『人間』なのか

それにしてもこれは広すぎるな…家ってより一宮殿だったぜ
そしてオマケとお前は僕を左右にしてくれた
しかし前よりつまらなくなった
もの前はもっと魂にとっても面白い存在だった
こんな所にいるからじゃないのかッ
あいつがあの時…お前の透明なことはこんなに面倒なことになるずに済んだんだ
この南波なんかに変ることもなかった
アイツッ…ッ
「アイツ」??「誰」がって??
どういうことだ
アイツって…誰のことだ
ジャンプ!お前がアイツ…まで戻れたのか
あんなに前のことを命懸けで守っていたのに
あぁ俺は…そうってこれはそれまでの俺ってことだったんだ
かわいそうに…
嘘だろよ アイツって
わからない
アイツは僕らにとっての太陽人
もしかしてお前にしろかの「異人」っ…ってこと
記憶にない人間

あーあ
かわいそうに
結局人って
忘れられちまうのか
報われねぇな

僕らは研究も
邪魔されて
検体まで
逃がされて
忘れたくても
忘れられないってのに

お前はさっさと
忘れて今幸せに
なろうとしてる
なんて身勝手で
自由な生き方なんだろう

ジェゴやっぱり
お前の本心はすげーく卑怯で
残酷で冷たいな
どんなに最悪な事も
どんなに辛いことも
顔色変えず乗り越えてきる

僕はそんな
お前が気に入っていた

きっとどんな罪を背負っても
きっとその表情は
変わらないんだろうなって

つで

も今のお前はまらない

たとえ

人を殺したとしても

お兄様は何もしっつ3ないんだろう

思い出せ木偶

ジューゴ

せっかくいいモノを持っているんだ

使ってもらわないと困るんだよ

手に違和感感じるのか？

そもそも奴隷はどんな種族だ？

皮膚能力は どうでしょう？

奴隷は あるのか？

髪は ぐちゃぐちゃしているのか？

イグルバ邪魔いなければ研究はうまくいっていたかもしれないのに

それを使った報告を聞かせろよ

検体No『15』

検体：No『15』：

研究報告

記憶なんてよくわかんねぇけど

この呼ばれ方が「嫌だ」というのはわかる

早く

ふざけるな

『コイツ』は人殺しの道具だっていうのか

ふざけるな

俺のことを知ったような風に喋るんじゃねぇ

てめぇに俺の事がわかってたまるか

研究とか言ってこんなモンを取り付けやがって

俺はコイツを使って人を傷つけるつもりなんてない

今しかない

お前首に傷をつけた男を知ってるんだろ

そいつに今すぐ会わせろ

今すぐにでもこいつを外す

『そいつ』？
てめぇ：そりゃ誰のこと言ってんだ？

気安く「あの方」のこと言ってんじゃねえぞ木偶検体風情が
やっぱりあの時ぶっち殺しておくべきだった
そうすれば刑務所なんざこんなクソ刑務所なんざ来ねぇで済んだのによぉ
まったく厄介な所に逃げ込んでくれたぜ
もう
逃がさねぇ
TO BE CONTINUED

南
彼
愛情
欲望
殺意
ロボセンシャ
自殺教育機関